



学校評価アンケート結果のお知らせ

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。さて、12月に実施いたしましたアンケートにご回答いただき、ありがとうございます。ほぼ同じ時期に実施しました児童アンケートの結果や学校職員による評価と併せて、アンケートの結果をご報告いたします。この結果を、今後の子どもたちの育成に生かしていきたいと思っております。

平成30年度蝶屋小学校学校評価(後期)

肯定的評価 A(当てはまる)+B(どちらかといえば当てはまる)
評価A:90%以上 B:80%~90%未満 C:70%~80%未満 D:70%未満

評価項目			肯定的評価	評価	総合評価	分析	担当	改善策
確かな学力の育成	1	児童	ベル始まり、返事、姿勢はできている	93%	A	前期評価と比べ、児童の評価は変わらない。保護者の評価は2ポイント上がり、教職員評価は100%となった。児童、教職員が意識をして授業に臨んでいる。しかし、まだ返事や姿勢などで個人差もある。	学習研究部	放送委員会による放送や、子ども達による声かけによりベル始まりを徹底する。返事、姿勢について集会での声かけ、各クラスで教職員からできている子を褒めてクラスの中で広めていく。教科書・ノート・学習用具を大切にすることを学校で声掛けし、家庭でも声掛けするように働きかける
		保護者	教科書・ノートや学習用具を大切に使用している	85%	B			
		教職員	学習準備(学習用具)、ベル始まり、返事、姿勢、まっすぐ挙手を指導している	100%	A			
	2	児童	宿題と自学をしている	95%	A	児童、保護者による肯定的評価が前期を上回っていた。自分の責任で持ち帰る学習用具を考え、計画的に宿題や自学ができるようになってきた。二学期に行った宿題忘れ0の取り組みでは、9月中旬全行50人いたが12月には0を達成し、その後も5人未満になった。	学習研究部	今後も学校全体で定期的に宿題忘れの取り組みを行い、やればできることをはげまし確認していく。各学年に応じた自学を宿題に取り入れる。どんなことをするとよいか、良いノートを掲示し解説する。
		保護者	自分で学習や持ち物の用意をしている	95%	A			
		教職員	忘れ物ゼロ、家庭学習(目標時間以上)、調べ学習に挑戦できるように指導している	95%	A			
	3	児童	短作文を工夫して書いている(友だちのよいところを取り入れている)	91%	A	わずかではあるが、保護者の評価が上がった。児童の評価は、前期に比べ質問項目が「良く考えていない」から「工夫・友だちのよいところ」とレベルが上がったため、4ポイント下がった。	学習研究部	引き続き、本時の課題について、自分の考えを書く時間、授業の終わりのふり返りを書く時間を確保する。その時に、友達の良い考えを取り入れるよう声かけをしたり、授業の中で変容した考えを書くよう指導していく。自学でも、その日の課題と振り返りを書くようにする。さらに家庭学習の大切さを家庭にも働きかける。
		保護者	集中して家庭学習に取り組んでいる	81%	B			
		教職員	児童が、書くことを通して深い学びができるよう、授業を工夫し、指導している	95%	A			
	4	児童	友だちの考えと比べて考えている	89%	B	前期に比べ、児童、保護者評価が上がっている。友達の発言に反応する力がついてきた。肯定的に反応する声もよく聞かれるようになってきた。	学習研究部	友達が何を発言したか繰り返し発表したり、その発言に対する自分の考えを発表したりする時間を意識してとる。授業だけでなく、朝・帰りの会や学級会で自分の考えを発表する場を積極的に設け、考えを交流する。
		保護者	人の話をしっかり聞き、反応している	82%	B			
		教職員	児童によく聞き考えて反応する力を育てている	95%	A			
豊かな心の育成	5	児童	相手の目を見て自分からあいさつしている	93%	A	毎朝、管理職を含む教職員が玄関に立ち、あいさつや服装指導を行っている。また、毎月のステージ目標に課題となる生活習慣を項目として取り入れ、全体指導や個別指導をねばり強く指導してきた。教職員が同じ目標を持ち、組織的に指導にあたってきた成果が高い評価につながった。	生徒指導部	引き続き、朝の生活指導を行い、あいさつや正しい服装が身につくよう声掛けを行っている。また、児童の実態を踏まえた生活のステージ目標を設定し、校内放送や学級指導、個別指導を行っている。
		保護者	家庭や地域であいさつができる	94%	A			
		教職員	あいさつや服装など、生活習慣が身につくよう根気よく指導している	100%	A			
	6	児童	声を出さずに掃除している	95%	A	毎月のステージ目標をもとに、校内放送、学級指導、個別指導をねばり強く繰り返すことにより、時間を守る意識や無言清掃、廊下の歩き方が定着してきた。保護者の認識は、学校の評価に比べて低いものの、時間を守る意識は児童の中で身につけてきていると言える。	生徒指導部	引き続き、校内放送、学級指導、個別指導を行い、どの児童も安定した学校生活を送れるよう、廊下歩行の指導や時間を守る指導、無言清掃の指導を行っている。また、時間を守る大切さを伝え、学校以外の場でも児童が時間を守るように育てていく。
		保護者	家庭のルールの中で時間を守り行動している	80%	B			
		教職員	時間を守り、廊下や階段の正しい歩き方、掃除の仕方を指導している	91%	A			
健やかな体の育成	7	児童	毎日早寝をしている	82%	B	ステージ目標に早寝早起きの項目を設定。具体的に学年ごとに目標時間も示し、取り組ませたことで成果が出た。歯みがきについても養護教諭を中心に学級指導を行い、成果が出た。	生徒指導部	他の生活習慣同様に、引き続き、早寝早起きの大切さや、歯みがきの大切さを伝えていく。家庭への啓発も保健だより等で行う。
		保護者	早寝早起き、寝る前の歯みがきをしている	86%	B			
		教職員	早寝・早起き・寝る前の歯みがきを指導している	94%	A			
	8	児童	自分にできることをふやしている	92%	A	6年生が他学年に大縄を教える時間を設けることで、学年を越えて協力し合う雰囲気が出た。スポチャレとつなげたことで、スポチャレの参加率も高まっている。	特別活動部	これまでと同様に、長休みの縄跳びを行い、安全性の確保や、新しい技にどんどん挑戦できるような声かけをしていく。
		教職員	休み時間や縦割り班での遊び方を把握し、協力して活動する指導をしている	100%	A			
	9	児童	自分新記録を出すためにがんばっている(なわとび)	97%	A	長休みには、体育館で高学年が低学年に教える姿も見られ、主体的に交流し合う姿が見られた。短縄も、ビデオで技紹介などをしたことで、多くの児童が積極的に新しい技に挑戦している。冬場は寒くなり、放課後に遊ぶ時間が少なくなり、家で過ごす児童が多くなる。そのため、保護者の評価が下がったと思われる。	特別活動部	外で遊ぶことの良さを伝える。晴れた日や、学校の早く終わった日などは、外遊びすることを呼びかける。
		保護者	身体を動かし元気に遊んでいる	85%	B			
		教職員	体を動かし、スポチャレいしかわに挑戦する指導をしている	100%	A			
	学校経営	10	児童	学校は楽しい	95%	A	学校の教職員一人ひとりが子ども達との対話を大切にしており、悩みや困りにていねいに対応している成果が高い評価につながっている。	生徒指導部
保護者			元気に登校し、学校生活を楽しんでいる	97%	A			
教職員			児童一人ひとりと対話している	100%	A			
11		保護者	自転車に乗る時、ヘルメットを着用している(自転車を持っている児童のみ)	82%	B	児童・保護者双方への働きかけが功を奏し、自転車のヘルメットを着用する意識はだんだん向上してきている。	生徒指導部	新入生が入学する時期に合わせて、再度ヘルメットの着用をお願いし交通安全指導を行い、さらなる着用率の向上を図る。
12	教職員	校務を効率よく遂行している	95%	B	学校運営のサイクルを2ヶ月単位にし、会議を削減し、学年会や学年研究会の定例化を図ったこと、データの共有化を図ったことで、効率化を進めることができたと思われる。	教務部	中・長期的見通しと、ゆとりをもって校務に取り組めるように、予定を早めに提示したり、会議のつながりを示す。また、重点化・一本化・定型化・共有化を日常化して、効率化を図る。	

平成30年度 後期(12月) 保護者アンケート 意見記述および回答

白山市立蝶屋小学校

番号	領域	意見記述	担当	回答
1	学習規律	学習用具について、消しゴムを、すぐ粉々にします。授業中遊んでいるのでは・・・と注意はしています。	学 習 部	休み時間や授業中も学習用具の使い方が乱雑になることがあります。授業中の手遊びは注意できますが、休み時間まではなかなか目が届かないのが現実です。気になることがあれば、学校まで連絡していただき個人的に働きかけ、指導していきます。
2	学習規律	鉛筆の持ち方が悪く、家ではよく注意しています。先日、授業参観で他の子の持ち方を見てみると、ちゃんと持っているのは一部の子だけでした。できれば学校でも正しい持ち方、姿勢を呼びかけていただき、一人でも多く正しく持てるようになってほしいと思います。		家庭での丁寧な指導ありがとうございます。学校でも1年生の最初にえんぴつの持ち方や授業中の姿勢を指導していますが、学年が進むごとに乱雑になる子もいます。授業中の書く機会や書写の時間などを利用して正しいえんぴつの持ち方や姿勢を指導していきますが、連絡帳等でお知らせいただくと連携していきます。
3	学習規律 学習習慣	実際のところ、忘れ物が多い状態だと思う。「無いと困る」「忘れてたら恥ずかしい」「どうしよう・・・。」「忘れ物はぜったいしないぞ!」とは思わないのでしょうか?改善できるような対策を提案してほしい。		学校でも担任がファイルにまとめる、毎日こまめに声をかける、できたらほめるなどの指導をくりかえしています。「無いと困る」「忘れてたら恥ずかしい」という意識が高まっていくのは、周りの子に意識が向いてくる高学年にならないと難しい子もいるかもしれません。こまめに声をかけてできたらほめる指導を大切にしています。ご家庭でも意識してみるとよいですね。
4	学習習慣	忘れ物、学校からの持ち帰り忘れが多い。		
5	書く力	6年生も残り少しになり、中学に向けての意識が出てきたようです。担任の先生が自学ノートを多くするように、子どもの気持ちを上げさせる声かけをしてくださったみたく、毎日取り組んでいます。行き届いた指導をしていただいて本当に感謝しています。ありがとうございます。残り少なくなりましたが、よろしく願いいたします。	研 究 部	子ども達一人一人の成長が学校の何よりの喜びです。ご家庭でも、自学ノートのがんばりを具体的に認めてあげてください。
6	書く力	三年生になってから自主学習の宿題がよく出るが、テーマを決めるのに苦労している。たまに、テーマがあると取り組みやすいと思う。		自学学習が始まる時にやり方を指導しています。学級担任から自学学習おススメのテーマを懇談会で話しました。よりよい自学ノートを掲示したり、お互いに見合う時間をとったりしてよりよいテーマを見つけられるようにしていきます。国語の教科書の最後についている「今まで習った漢字」の復習とその漢字を使った文作りや、お家にある本を写すことも有意義です。
7	聞く力	人の話をしっかり聞けないことがあるのは、遊びの最中ではなく、勉強中に話しかける時、無反応であったりします。(たぶん集中しすぎているため、耳に入ってこないんだろうと思います。)話しかけるタイミングも大切かと反省しております。		本を読んでいたり、勉強していたり何かのめり込んでいるときは雑音が気にならなくなるのと同じです。学校でも自分の学習に集中する時間と友達の話聞く時間のメリハリをしっかりとつけていきます。
8	あいさつ	何でも自分できちんとしようとする点は、良いところです。ただ、なかなかあいさつはできません。何度も注意はするのですが・・・。	生 徒 指 導 部	あいさつができる子になってほしいというのは、学校も同じです。職員が毎朝玄関に立ち、あいさつをしたり、返したりしています。あいさつができるようになるには、大人が子どもといっしょにすることが一番の方法だと思います。すぐにはできないと思いますが、私たちがお子さんと一緒にあいさつを続けていきましょう。
9	時間管理	お手伝いは率先してやってくれます。勉強だけでなく、自立して生活できるよう、何でも自分でチャレンジしています。		何でも自分でチャレンジするのは素晴らしいですね。いつか自立して生きていくことを見据えながら、お子さんの成長を支援していきたいですね。学校でも様々な場面で挑戦してくれることを期待しています。
10	規則正しい生活	早寝は塾の帰りが遅くなるため、できておりません。塾がない日は、学校での指導通り午後9時30分に寝よう促しております。		早寝の取組ありがとうございます。睡眠時間を確保できるように、寝る目標時刻を設定しました。低学年、中学年、高学年と、児童の発達段階に応じて設定しましたが、お子さんの生活実態に合わせて、目標時刻を工夫してください。
11	その他	自転車小さくなり、最近は乗っていません。今後、体に合った自転車を購入時に、ヘルメットも一緒に買う予定をしております。		高学年になってからは、なかなか定着しませんが、ヘルメットの着用意識が高まっていると感じ、嬉しく思っています。ヘルメットは大切なお子さんの命を守るものとして必要不可欠です。今後も自転車に乗るときはヘルメットの着用をよろしくお願いいたします。
12	外遊び	外で遊ぶことはほとんどありません。	特 別 活 動 部	ご意見ありがとうございます。冬場は天気が悪い日も多く、すぐに暗くなってしまいます。そのため、放課後に外遊びをすることは、今後もなかなか難しいと思います。学校が早く終わる日や、天気のよい日には外で遊ぶことの良さを伝え、できるだけ安全に、楽しく遊べるように声かけをしていきたいと思っています。
13	その他	特にありません。今後もよろしくお願いいたします。	教 務 部	ここにはすべてを掲載できませんが、学校や教職員への感謝の言葉を多数いただきました。
14	その他	いつもお世話になっております。あとしばらくになりましたが、よろしくお願いいたします。		これからの励みにし、子どもたちのよりよい成長を実現するために、保護者・地域の皆様と連携協力していきたいと考えています。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

◇学校関係者評価委員会・評議員会より(2月1日実施) *主なものです。

- ・今日の授業参観は、どのクラスも児童はいきいきとしていた。保護者の参観マナーもよかった。
- ・大縄8の字跳びの取組は大変よい。授業参観でも見られた。お礼の手紙も掲示してあり、上学年が下学年に教えた様子も見て取れた。地域でも縦のつながりが希薄化している。ぜひ学校で縦のつながりを作る場を設定してほしい。
- ・児童相互が授業を参観する取組はあるのか。異学年交流を進めるとよい。上学年がアドバイスし、下学年はあこがれを持つ。
- ・結果や状況が数値データで出されることは大変よい。保健室の来室者も減少したようだ。ケガ以外の来室状況を、担任も知り対応することが大切だ。
- ・スポーツ少年団等の活動も盛んで、児童は忙しく、宿題をする時間や寝る時間が少なくなっていないか。
→生活時間の使い方工夫や宿題忘れ0の取組について、今後も家庭と連携していく。
- ・テレビでも放送されていたが、俳句を詠んで挨拶して登校するのは大変素晴らしい。
- ・ヘルメットの着用率が向上するよう、今後もお願いしたい。
- ・お金の価値について知らない児童も多い。どこかで金銭教育も必要かと思われる。